もっと知りたい！クルマイス。

車いす メンテナンス

タイヤの交換って どうしたらいい？の巻

チェック ◆まずは、パンクかどうか調べてみましょう！

1...

空気を入れて1時間以内でペシャンコになるのなら、チューブに穴が空いているか、虫ゴムの寿命です。空気を入れて1～2日で空気が少し抜けた感覚があれば、虫ゴムの寿命の可能性が高いです。

車輪の取り外し

2...

赤丸の部分、車輪の中心部分に薄型スパナを合わせます。赤丸部分はしっかりと固定。動かさないように!レンチを矢印方向に回して車輪を外します。

左から、19mmボックスラチェットレンチ・19mm薄型スパナ・10mmスパナ・タイヤレバー（樹脂製）。

タイヤ交換で必要な工具

◆タイヤの情報を確認しましょう！

3...

ここを確認!

外した車輪の側面に、数字や記号があります。（赤線部分）これはタイヤ径や空気圧などの情報。確認してみてください。

車輪を外しました！

バルブの取り外し

4...

バルブキャップを取り、リムナットを10mmスパナで緩め、トップナットを手でゆっくり緩めます。 空気を抜きます。

※トップナットを急に緩めると空気が抜けた勢いで虫ゴムを紛失する場合がございます。

カワムラでは、現在、これを使っています。

左から、ゴム製スーパーバルブ・十字切り欠き型バルブ・従来型バルブ。
カワムラサイクルではそう呼んでいます。

タイヤの取り外し ◆タイヤレバーは、車輪の継ぎ目に注意しましょう！

5...

継ぎ目

バルブを押し込んで、バルブ口付近からタイヤレバーを差し込み、スポークにレバーをひっかけます。レバーを差し込む際に、車輪の継ぎ目に注意してください。この継ぎ目から15cm離した所に差し込みましょう。

6...

さらに、外していきましょう。

外した状態。

15cmほど間隔を空けて、タイヤレバーを差し込んでいきます。まず、片側のタイヤをリムからはずしてください。バルブを押し込んで、チューブのみを引っ張り出します。その後、タイヤを外してください。

外したら、穴や裂け目がないか確認しましょう。バルブをつけて空気を入れ、水の中に入れると、穴が空いているか確認しやすくなります。

◆フラップを確認しましょう！

7...

リムフラップをバルブ口から離れた所から取り、破損等がないか確認してください。異常がなければ取り付けしてください。

※バルブの差し込み口の部分は、長年使用していると破損したりします。リムフラップはスポークを止めているネジからチューブを守る役目をしているので、しっかりと確認してください。

チューブの入替え

8...

リムナットを仮止め

タイヤにチューブのバルブ部分のみ入れ、バルブ口にバルブを差し込みます。
チューブのみをタイヤの中に入れていきます。
※チューブにねじれがないか確認してください。

バルブにリムナットを仮止めしておくとチューブがズレずに作業をすすめることができます。

タイヤの組み込み ◆タイヤはバルブ付近から組み込むのがポイント！◆リムラインを確認しましょう！

9...

最後はタイヤレバーを使う。

ます、タイヤの片側だけリムにひっかけていきます。チューブは必ずタイヤの内側にいれてください。

その後、もう片側のタイヤをバルブ口付近より入れていきます。

※チューブをはさみこまないようにきをつけてください。リムの継ぎ目にもご注意ください。

チューブがはみ出していないか全体を確認してください。

10...

4～5回空気を入れ、タイヤを膨らませます。そのとき、タイヤのリムラインがそろっているか確認しましょう。

リムライン

◆空気を入れて車輪を回転させ、波打っていないか確認しましょう！

●18～22in一般：400kPa（減圧弁圧）
●22in軽量：700kPa（減圧弁圧）
●16in以下一般：300kPa（減圧弁圧）

11...

軸

リムラインの確認ができれば、空気を入れます。入れる目安は、車輪によって異なりますので、左下の表をご参照ください。

〈楽々ポンプ〉
ゲージ付 ロングホース

空気圧を確認したらタイヤが完成です。車輪の軸を持って回転させ、波打っていないか確認します。

車輪の取り付け ◆力一杯よりもやさしい力で！

12...

取り付けられていた順番で部品を組み込みます。バンドブレーキカバーが真っ直ぐ付いている事を確認しながら、薄型スパナを動かさないで、レンチを回して固定させます。これで完成!

試運転・検査で、完成!

◎車輪・タイヤ・チューブの販売もしております。＜オプション＆関連パーツ（P.125）ご参照ください。＞

※工具の販売はしておりません。

バンド式ブレーキワイヤーの交換ってどうしたらいい？の巻

ワイヤーが切れてしまったり、折れてしまったりする時や、レバーを操作しても作動しないときに行います。

ワイヤーは１年に１回は交換するのがオススメ！

ワイヤーの取り外し　◆部品の取り付け状態を忘れないようにしましょう。

1・・・ ナットをゆるめることからスタート！

10mmのラチェットレンチでワイヤー固定部のナットを緩めます。
◆ポイント:ナットを完全に外さずに緩めることです。

ニッパーでワイヤーの先端のインナーキャップを外します。

ワイヤーを抜きます。
◆ポイント:部品の取り付け状態を忘れないように左右片方づつ行うことです。

まずはワイヤーを通している黒いアウター部分を引き抜きます。

つぎにワイヤーを引き抜きます。
○部分にドライバーなどを差し込み下側に引っ張ると、簡単に引き抜けます。

ワイヤー交換に必要な工具

左から、10mmラチェットレンチ（スパナでも可）・8mmスパナ・千枚通し・ワイヤーカッター・ニッパ

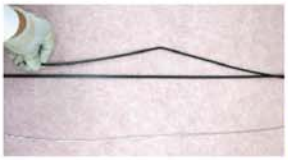
※ブレーキの種類によって工具は異なります。

アウターの準備　◆新品のアウターと長さを揃えます。◆ワイヤーカッターはアウターに対して垂直に！

2・・・

新品のワイヤー

新品のワイヤー（インナー／アウター）とインナーキャップを用意して下さい。



取り外したアウターと新しいアウターの長さを確認しましょう。

アウターの長さを揃えて切断しましょう。

長さを揃えて切断。このとき、ワイヤーカッターはアウターに対して垂直に刃を入れるように切ります。**◆○部分を活用できるように残して切断しましょう。**

切断面の穴がつぶれていないか確認しましょう。

千枚通しなどで穴を広げます。
細かい作業なので、怪我に注意して行いましょう。

ワイヤー／アウターの取り付け　◆ワイヤーをキズ付けないように慎重に作業しましょう。（取り外しのときと逆の手順で。）

3・・・ （ブレーキレバー側）

矢印の方向から取り付けます。
ワイヤーは無理に引っ張らず、キズを付けないように慎重に作業します。

タイコと呼ばれるカシメ部分をレバーの穴に固定します。

油断するとタイコが飛び出すので、穴の部分を押さえながら作業するといいです。

ワイヤーの取り付け完了。

これでワイヤーの取り付けは完了です。
次はアウターの取り付けを行います。

ワイヤーをアウターに通して、アウター先端をレバーに固定します。
○部分からワイヤーをいれます。

ワイヤー／アウターの取り付け（ブレーキ調整）　◆調整は慎重に作業しましょう！

4・・・ （ブレーキアジャスター側）

ワイヤーを通します。

↔ 矢印部分くらいのアジャスターの調整幅を設けてからワイヤーを通します。

バネの中にワイヤーを通し、○印部分にワイヤーを通します。

手ごたえを感じるまで赤矢印方向に力を加え、遊びを持たせるように少し力を加減してレンチでナットを締めます。**◆ブレーキの効き具合がこの調整で左右されます。**

ワイヤーが通れば、しっかり引っ張ります。アウターがアジャスターにしっかりと入っているか確認しましょう。

ワイヤーの固定が終われば、ブレーキレバーの確認。

手ごたえがあるまで軽く握り、指が入る程度に隙間ができれば良いです。

ハンドルにくっつく場合はアジャスターの調整幅を少しづつ広げてみましょう。

ハンドルから離れすぎてしまう場合はアジャスターの調整幅を少しづつ狭くしてみましょう。

仕上げ　◆作動チェックは完璧に！

5・・・

ブレーキレバーの確認ができればワイヤーカッターで余分なワイヤーを切断します。

ワイヤーは5cm程度残しておくようにしましょう。

ワイヤーに対して垂直に刃を入れます。斜めに切断するとこのようになります。

切断した先端にインナーキャップを取り付けて、ニッパーで締めます。締めるときは力を入れすぎないように。

ワイヤーの先端が車輪に当たらないよう根元から少し曲げます。
この後、ブレーキの作動チェックをしてワイヤー交換完了です。

完成！

※工具の販売はしておりません。

Web site
ホームページ

もっと身近に・・・

http://www.kawamura-cycle.co.jp/

カワムラサイクル　検索

新商品のご案内から、商品カタログや車いすのマニュアルや取扱説明書などの
各種情報を発信しています。是非アクセスしてみてください。

インフォメーション

フリーペーパー
無料情報誌

車いすとワタシを楽しむ
arco

カワムラサイクルからのメッセージとして「歩こ」という誘い文句といっしょに、
「arco（アルコ）」という情報誌をお届けしています。
車いすでの旅情報からメンテナンス方法などの様々な情報を掲載しています。

・・・

学ぶ

カワムラサイクルは適合性を追求します。

我々は、一層の品質向上に努め、人と環境にやさしい福祉用具の開発に取り組んでまいります。
また、地球環境を守る活動にも積極的に取り組んでまいります。

品質マネジメントシステム　環境マネジメントシステム
ISO9001 & ISO14001認証取得

00898-2004-AQ-KOB-RvA / 00898-2004-AE-KOB-RvA
本社・神戸工場・神戸第二工場・いなみの工場・本店サービスセンター

「福祉用具 JISマーク」認証取得
＜認証取得：JE0509008＞

平成22年3月4日、当社は製品規格、製品試験、製造工場における品質管理実施状況等の審査を経て、手動車いすJISマークの認証を取得しました。（認証取得：JE0509008）
認証製品（カタログ内参照）は福祉用具JISマークを順次貼付して出荷いたします。

- 非課税 の商品については消費税はかかりません。
- 仕様および価格は、製品開発・改良のため予告なく変更されることがあります。ご了承ください。
- 商品写真は印刷物のため、実際の色と多少異なる場合があります。ご了承ください。
- 当社商品はPL保険に加入しております。

お問い合わせは下記までお気軽にどうぞ。

車いすの専門メーカー
株式会社 カワムラサイクル
URL http://www.kawamura-cycle.co.jp/

□本　社　〒651-2411 兵庫県神戸市西区上新地３丁目９番１
TEL.078(969)2800 FAX.078(969)2811

＜代理店＞

□仙台サービスセンター　〒982-0023 宮城県仙台市太白区鹿野３丁目１番１ リエス鹿野1階
TEL.022(746)9540 FAX.022(746)9541

□東京サービスセンター　〒110-0013 東京都台東区入谷１丁目８番３
TEL.03(3874)3511 FAX.03(3874)3514

□横浜サービスセンター　〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野２丁目12番９
TEL.045(290)9585 FAX.045(290)9586

□名古屋サービスセンター　〒487-0027 愛知県春日井市松本町１丁目３番11
TEL.0568(52)4800 FAX.0568(52)4802

□大阪サービスセンター　〒553-0004 大阪府大阪市福島区玉川１丁目３番18 マックス大阪ビル5階
TEL.06(6479)2055 FAX.06(6447)1911

□本店サービスセンター　〒651-2411 兵庫県神戸市西区上新地３丁目９番１
TEL.078(969)2820 FAX.078(969)2822

□福岡サービスセンター　〒819-0055 福岡県福岡市西区生の松原１丁目18番３
TEL.092(882)4722 FAX.092(882)4723

□工　場　● 神戸工場 ● 神戸第二工場 ● いなみの工場

「参考価格」は弊社が参考のために表示する価格です。
販売価格は販売業者様が自主的に決定されるものです。

ダンボール等の再資源化にご協力ください。

税込価格 **540円**（本体価格500円）（Vol.16-2 2015年版）2015.10